

「平成19年度普及に移す成果」

精麦適性が優れる六条大麦「シルキースノウ」の認定品種採用

みんなで進めよう
茨城農業改革

機関名 農業研究所 作物研究室・水田利用研究室

消費者の健康志向や安全・安心志向の高まりを背景に国内産の精麦用六条大麦の需要が増加しています。本県では、精麦用六条大麦「シルキースノウ」を沖積土の輪換畑栽培用の認定品種に採用しました。「シルキースノウ」は「カシマムギ」に比較して収量は多収で、耐倒伏性に優れ、オオムギ縮萎縮病ウイルスⅠ・Ⅱ・Ⅲ型系統に抵抗性を有しており、栽培特性や、精麦適性が優れています。

耐倒伏性に優れる多収品種

「シルキースノウ」は「カシマムギ」に比べ出穂期は5日遅く、成熟期は6日遅くなります。稈長は4cm長くなりますが、強稈で耐倒伏性に優れており、成熟期の穂首折損が少なく、収量は12～18%多収です。



写真1 「シルキースノウ」(右)とカシマムギ(左)の立毛状況

大粒で粒形は「やや長」

カシマムギの粒形は「やや円」ですが、「シルキースノウ」の粒形は「やや長」です。千粒重は同等～やや重く大粒で、外観品質はほぼ同等です。



写真2 「シルキースノウ」(右)とカシマムギ(左)の穀粒

優れる精麦品質

「シルキースノウ」の実需者による精麦品質総合評価は、他の精麦用六条大麦や麦茶用六条大麦に比べ優れています。



写真3 「シルキースノウ」の丸麦(55%搗精)

<問い合わせ先; 農業研究所 作物研究室 電話 029 (239) 7212 >